

のりのりマップに

兄弟(姉妹?)誕生!

歩・自・路・バ



活動報告

- 2月 19日 県議会自民系議員との学習会
- 20日 全国路面電車サミット第3回実行委員会
- 22日 福井市都市交通戦略協議会
- 22日 事務局会議
- 25日 福武線存続フォーラム(越前市)
- 26日 福井市自民系市議との学習会
- 29日 事務局会議
- 3月 5日 IRE LRT研究会
- 7日 事務局会議
- 10日 福井市地域活性化会議
- 14日 ROBA 3月例会

今後の予定

- 3月 19日(水) 全国路面電車サミット第4回実行委員会
- 20日(木) 都市再生モデル調査ヒアリング 下旬 臨時理事会
- 4月 18日(金) ROBA 4月例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

ステータス症候群 (副題)社会格差という病
 マイケル・マーモット著 鏡森定信・橋本英樹監訳
 日本評論社 3,600円+税

ISBN978-4-535-98275-8 C3036

極端に貧しく、安全な水・食料、医療にアクセスする機会が制約される人は、そうでない人より病気にかかりやすく、平均寿命が短いことは容易に想像できる。しかし、そうした心配が少ない先進国でも、地位の高い人ほど平均寿命が長い。健康だから地位が高くなるのかもしれないが、英国の公務員の大規模な調査から、自己決定権が大きい人、社会とのつながりが深い人ほどストレスが小さいから、病気にかかりにくく、直りやすく、平均寿命が長いことがわかった。

著者は貧富の差が小さく、人間関係の濃厚な日本社会が少ない医療費で高い平均寿命を達成していることを評価している。この本は交通問題の本ではないが、モーターリゼーションの進展の中で、自由にクルマを使えない人へ、自己決定の機会と社会へのつながりの機会を与えることの重要性を理解する目的で私は読んだ。(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

神出鬼没……………今日もROBA調査隊が行く！



活動報告

- 3月19日 路面電車サミット実行委員会
- 19日 福井・坂井地区公共交通活性化委員会
- 20日 都市再生モデル調査フォローアップヒアリング
- 23日 臨時理事会
- 24日 福井市都市交通戦略協議会
- 26日 福井・坂井地区公共交通活性化委員会
- 27日 「ふくいりんりんマップ」福井市に納品
- 4月13日 福武線活性化沿線調査
- 16日 路面電車サミット実行委員会
- 18日 ROBA 例会

4ページに関連記事

撮影 / 林博

今後の予定

- 4月下旬 臨時理事会
- 5月2日(金) 福井市地域交通活性化協議会
- 5月16日(金) ROBA 例会
- 中旬 路面電車サミット実行委員会
- 25日(日) 総会・記念講演会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

満員電車がなくなる日 阿部等
角川SSC新書 760円+税
ISBN978-4-8275-5029-0 C0295

はっきり言って、お値段以上におもしろい本です。満員電車をなくすには、信号システムの改良等による高頻度運行、3線化、2階建て車両（ホームも2階建て）など様々な技術開発の余地がある。しかし、質を改善しても高料金を取れない料金政策が満員電車の解消の障害となっている。というのが要約です。

鉄道には、独占経営という自由な競争に任せれば市場の失敗を招く要素があるものの、規制をする政府の失敗もまたある。これは経済学の教科書によくある話。独占企業は、自由に任せておくと、料金のつり上げと商品の過小供給を行う。1人が1単位の物を買えないと大いに困るが、満員電車は求める人に目的地まで運ぶという最低のサービスを「量」としては供給している。質まで含めた独占政策は古典の教科書にはない。

この本にもう少し足りないことがあるとすれば、「鉄道会社にその気にさせる政策論」だろうか。私事になるが、私は比較的輸送力に余裕のある大井町線→東横線で通勤している。筆者の主張を一部実現する形で運賃を上乗せした「鉄道整備基金」を用いた工事が完成し、3月28日から城南地区私鉄で最も混雑の激しい田園都市線のバイパスとなる予定である。混雑激化に戦々恐々、特に帰宅ラッシュ時の増発をお願いしたい。本当に座って居眠りして通勤できるなら料金は倍払ってもいい。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

福武線電車(800型)脱線 080419 1440ごろ 福井市役所前駅近く 乗客らにケガなし



福井西武前 / 福井鉄道代行バス / 080419 1600 / 撮影 林照

活動報告

- 4月25日 事務局会議
- 4月29日 臨時理事会
- 5月2日 第1回福井市地域生活交通活性化会義
- 2日 事務局会議
- 9日 事務局会議
- 16日 例会・理事会

今後の予定

- 5月20日(火) サミット実行委員会
- 22日(木) 事務局会議
- 23日(金) IRE LRT研究会
- 25日(日) 総会&講演会
- 「みんなで考えよう これからの福武線」
- 29~30日 カーフリーデーアジア会議(横浜)
- 30日(金) 事務局会議
- 6月4日(水) 福井市環境展説明会
- 6日(金) 事務局会議
- 13日(金) 事務局会議
- 20日(金) 例会・理事会

今後の予定

- 5月18日(日) 講演会「ドイツ・フライブルク市のマイカーに頼らない交通システム」

ゆうじんの部屋 書籍紹介

地方を殺すな

三浦展、大林宣彦、大西隆、藻谷浩介

洋泉社MOOK 1365円 ISBN978-4-86248-201-3

以前この欄で紹介した「ファスト風土化する日本」の読み物版といった感じで郊外型SC中心の開発に警鐘を鳴らすことを目的とした書でありながら、非常に読みやすくまとまっている。大林氏は観光都市としての価値を高めるには「開発」をしない古いままがいいと言っているところなどは意見の分かれるところであろうが、まちづくりの入門書として、さすが各界の売れっ子が書いているだけあって読みやすい本である。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

ゴールデンウィーク特集ということで、3ページにも書籍紹介があります

福武線をみんなで考えよう！080525 ついでに腹部もメタボ対策を！



ディスカッション



総会后記念写真

2～3ページに関連記事

活動報告

- 5月18日 講演会「フライブルク市のマイカーに頼らない交通システム」
- 20日 全国路面電車サミット実行委員会
- 22日 事務局会議
- 23日 IRE研究会
- 24日 サミット事前打合せ会
- 25日 ROBA総会・「みんなで考えよう。これからの福武線」
- 29日 福井市福武線サポート団体協議会設総会
- 29日～30日カーフリーデーアジア会議
- 6月1日 秋田県議との懇談会
- 6日 事務局会議
- 10日 全国路面電車サミット実行委員会
- 11日 森田地区まちづくり協働事業会議

活動報告

- 6月12日(木) REF 講演会「イタリアの交通まちづくり」
- 13日(金) 事務局会議
- 20日(金) 中部運輸局地域コーディネーター会議
- 20日(金) ROBA例会

今後の予定

- 6月27日(金) 事務局会議
- 28日(土)～29日(日) 福井市環境展
- 7月1日(火) 全国路面電車サミット実行委員会
- 4日(金)～5日(土) 第3回JCOMM(デザイン賞表彰式)
- 4日(金) 事務局会議
- 5日(土) 阪堺線・LRT計画視察
- 11日(金) 事務局会議
- 18日(金) ROBA例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

セオリー 2008 vol.2

講談社 1000円 ISBN978-4-06-378102-1 C9433

雑誌である。今回号の題名が「高級住宅街の真実」となっている。高級住宅街が高級住宅街であり続ける理由。もちろん区画が大きく単価が高くて庶民には買えないということもあるが、開発者の心、道路条件、建築協定などの努力、経済的に余裕のある人々の作るコミュニティ、いろんな要素が分析されている。田園調布、松濤、成城、山手、披露山、芦屋、下鴨大都市だけなのが残念。

結局敷地が広い 人口密度が低い 車がないと暮らせないということで、くるま社会になってしまうところばかり。高級マンションの暮らしも紹介されているが、これも東京限定といった感じです。

こんな本を読んでも、自分の家はやはり最高という気持ちは変わらない。我が家自慢はじっくり別の場所で。(東京へお越しの際は声をかけてください)

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin



JCOMMデザイン賞 受賞！ ホジロバツール 評価



6
ペ
ー
ジ
に
関
連
記
事

活動報告

- 6月27日 事務局会議
- 28日～29日 福井市環境展
- 7月1日 全国路面電車サミット実行委員会
- 4日～5日
第3回JCOMM(デザイン賞表彰式)
- 4日 事務局会議
- 5日 阪堺線・LRT計画視察
- 11日 事務局会議
- 18日 ROBA例会

今後の予定

- 7月23日(火)サミット実行委員会
- 25日(金)事務局会議
- 8月5日(火)全国路面電車サミット実行委員会
- 8日(金)例会・理事会
- 9日(日)鯖江市環境フェア
- 22日(金)事務局会議
- 23日(土)～24日(日)
中部地区路面電車サミット in 岐阜(関市)

ゆうじんの部屋 書籍紹介

クリエイティブ資本論

リチャード・フロリダ著 井口典夫訳 ダイアモンド社
2800円＋税 ISBN978-4-478-00173-8 C3033

10年ほど前から、「これからは創造的な知識層が都市を選ぶ時代。産業基盤より、都市の魅力づくりが重要」と言われてきて、日本の各都市もそうした方向の都市政策をめざしてきた。でも具体的にどうしていいかわからない。この本が推奨しているのは「多様性への寛容」である。

2002年に書かれた本なのに、日本やドイツは単一民族なので衰退しているとか、それを一時的傾向でないことをしっかり捕らえている。経済の分野で今になって「ガラパゴス化」の弊害が叫ばれている。なのに東京は、どんどん不寛容な都市になりつつある気がする。秋葉原のパフォーマンス規制などは、セクハラ対策に名を借りて、警察がどこまで言論・表現規制に世論やマスコミが同調するか試している気がする。都市計画の専門家と思っていたジェイコブスがよく引用されていることを考えると、ハードの都市計画と都市政策の狭間の本のようなものである。

ボヘミアン、ゲイといった用語のイメージが日本人にはわかりにくいので、最初は読みにくい気がしたが、訳本の割にはすこぶるわかりやすい本である。書き出すと止まらなくなるほど「読みどころ」が多い本であり、是非お勧めする。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin



中角橋 / 撮影 林照

【中角橋】自転車、歩行者専用。全長 265m。
供用は09年春を予定。近くにはえち鉄・中角
駅があり、P & Rができます。

活動報告

- 7月23日 路面電車サミット実行委員会
- 25日 事務局会議
- 29日 福井市都市交通戦略協議会
- 31日 福井市地域生活交通活性化会議
- 8月1日 全国路面電車ネットワークとの打合せ
- 5日 路面電車サミット実行委員会
- 8日 ROBA例会

今後の予定

- 8月21日(木) 越前市地域公共交通会議
- 8月22日(金) 事務局会議
- 28日(火) 路面電車サミット実行委員会
- 29日(金) 事務局会議
- 9月5日(金) 事務局会議
- 19日(金) ROBA例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

公共事業と市民参加

江崎美枝子 + 喜多見ポンポコ会議

学芸出版社 2000円 + 税 ISBN978-4-7615-2406-7 C0052

外環道(*1)のPI(*2)に参加した一般人の記録である。役所側の説明のわからないところを深く勉強し、交通量配分などの問題点に気づいていく。著者の一番言いたいことは、事業推進側が、自分の都合のいいデータを説明するときは誤差が少ないように説明し、都合の悪いデータを説明するときは誤差が多いと説明する傾向への警鐘である。まちづくりは、自分のまちのことだから、情報を読み間違えて困るのは自分たちだし、もともと誤差の少ない予測など不可能である。しかし、ダムや通過道路は明らかに地元と「利用者」の利益が対立するし、もっともらしい予測値が存在する。大規模公共事業での「参加」の方法について定式はないが、少なくとも相手に「隠し事をしている」と疑われるようでは後味の悪い「参加」にはならないだろう。

*1 / 外環道は、環状道路であり、既存の環状8号線や都心道路のバイパスとしての機能があります。その意味でもバイパスと言っていいです。

*2 / PI はパブリックインボルブメントの略で、市民を巻き込んだ計画づくりのことを言います。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

『ふくいのリのりマップ』

京福バス市内バス案内所にデビュー！！



関連記事 7 ページ

撮影 / 林博

活動報告

- 8月21日 越前市地域公共交通会議
- 22日 事務局会議
- 23日 中部地区路面電車サミット in 関
- 28日 路面電車サミット実行委員会
- 29日 事務局会議
- 9月4日 事務局会議
- 9日 サミット実行委員会
- 12日 事務局会議
- 16日 サミット合唱団練習下見
- 18日 例会・理事会

今後の予定

- 9月21日(日) カーフリーデーふくい2008
- 26日(金) 事務局会議
- 26日(金) 福井市地域生活交通活性化会議
- 30日(火) サミット実行委員会
- 10月3日(金) 事務局会議
- 10日(金) 例会・理事会
- 10日以降 ミーティングテーブル プレゼン
- 14日(火) サミット実行委員会(最終)
- 17日~19日 全国路面電車サミット福井大会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

LRTと持続可能なまちづくり

副題:都市アメニティの向上と環境負荷の低減を目指して
青山吉隆、小谷通泰編著 学芸出版社 4200円+税

ISBN978-4-7615-4082-1 C0052

最近LRT本を紹介することが少なくなっていたこの書評欄ですが、久しぶりに重厚な「路面電車とまちづくりの書」が出版されました。グラフなどのデータも豊富で、LRTを事業化しようとしている自治体職員や、団体メンバーが人に説明するネタ本として最適のように、LRTを使うとどのような町ができるのか、CO2削減効果など、豊富なデータと写真で解説された本です。

単に趣味で書いたというより、LRT普及を願う先生方の熱意も感じられます。少々値が張りますが、ROBAの会員にはきっと元が取れる必読の書です。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

雨二モ負ケズ 風邪二モ負ケズ カーフリーデーふくい2008



3 ページ関連記事

活動報告

- 9月21日 カーフリーデーふくい2008
- 26日 事務局会議
- 26日 福井市地域生活交通活性化会議
- 30日 サミット実行委員会
- 10月3日 事務局会議
- 4~5日全国まちづくり会議 2008(北海道・恵庭)
- 7日 ミーティングテーブル(福井市)
- 10日 例会・理事会

今後の予定

- 10月11日(土) サミット全体打合わせ
- 14日(水) サミット実行委員会
- 17(金)~19日(日) 全国路面電車サミット福井大会
- 24日(金) 事務局会議
- 31日(金) 事務局会議
- 11月1(土)~2日(日) 全国バスマップサミット(新潟)
- 7日(金) 事務局会議
- 14日(金) 事務局会議
- 21日(金) 例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

日本文明世界最強の秘密 増田悦佐

PHP 研究所 1600円+税 ISBN978-4-59-69631-7 C0034

カバーには大きな日の丸がついていて、書店に積んであっても自分の思想が覗き見されるようで手に取りにくい。表紙で損をしている。しかし、内容はすばらしい。私の尊敬する上岡直見さんや杉田聡さんが批判されているが、根本の考え方は同じ。経済学的に正しい政策をやろうということである。

ひとつ気になったのは、「鉄道による貨物輸送は、積み替えにエネルギーがかかる」として、貨物はトラックが最適と決めつけている点である。私は、エネルギーがかかるのではなく、時間がかかり、鉄道で効率的な輸送単位まで荷物がそろのを待つと、さらに時間がかかるというのが真相と思う。コンテナごとにICを埋め込み、統合管理する技術等の進歩は著しく、エネルギー価格の上昇幅によっては、鉄道貨物が担う分野はあると思われる。

とにかく広い分野の知識を大都市集中政策とそれを支える鉄道整備を正しいと説明するために動員しており、それを可能にしている日本人の文化を褒め称えている。そういう意味では右翼的かもしれないが、おおむね論旨は通っている。地方鉄道存続運動家には不都合な真実も散見されるが、いずれそうした理屈を真似る人が出てくるだろうから、それに反論せざるをえない立場になる人々にも是非読んで頂きたい。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

第9回全国路面電車サミット 2008 福井大会 「ひと・まち・環境をつなぐLRT」

お疲れ様でした！ 「サミットの感想」特集やざー



活動報告

- 10月11日 サミット全体打合せ
- 14日 サミット実行委員会
- 17日～19日 全国路面電車サミット
- 24日 事務局会議
- 11月 1日～2日
全国バスマップサミット新潟
- 8日 鶉小学校オータムフェスティバル
- 19日ミーティングテーブル第2回目プレゼン
- 21日 11月例会

今後の予定

- 11月26日(水) 全国路面電車サミット最終実行委員会
- 11月27日(木) まちづくり市民シンポ
- 11月30日(日) 福井市消費者まつり
- 12月 6日(土)
「人と環境に優しい交通をめざす全国大会」(横浜)
- 12月12日(金) 12月例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

日本の「安心」はなぜ、消えたのか

山岸俊男 集英社 1680円

ISBN978-4-7976-7172-8 C0011

国の制度を設計するとき、他国を参考に、国民性を加味してアレンジすることが多い。しかし、「国民性」を見誤っていたら。経済の能率化には、信頼の構築が不可欠であるが、組織への忠誠等の日本人の「特質」と思われているものは、生まれつきではなく、そうすることが得だからそうなっているだけで、グローバル化する社会では、信頼を構築する社会の設計が重要と説く本。

まちづくりでも、顔の知れた固定されたメンバーでやっていけば裏切られることはないが、発展性もない。「利己的な遺伝子」「ゲームの理論」も踏まえた「新道徳書」として推薦する。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin



おっしゃれーなバス停ができたんやざー！



福井駅前（福鉄バス）撮影 / 田山

活動報告

- 11月26日 全国路面電車サミット実行委員会
- 27日 まちづくり市民シンポ
- 30日 福井市消費者まつり
- 12月6日 人と環境に優しい交通をめざす全国大会
- 12日 福井市地域生活交通活性化会議
- 12日 12月例会

今後の予定

- 12月20日（土）民主党若手メンバーの勉強会
- 1月16日（金）1月例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

「社会的ジレンマの処方箋」

(副題) 都市・交通・環境問題のための心理学

藤井聡著 ナカニシヤ出版 2800円+税

ISBN978-4-88848-813-6 C3011

ゲームの理論の交通版教科書である。囚人のジレンマや、共同牧場の悲劇など、ゲームの理論を現実の交通・環境問題に当てはめて説明されており、おもしろい。ただ、解決策を規制制度や税制だけに求めるのではなく、事実を知らせることや、公共心の教育までに広げているところに一般向けの図書としては新規性がある。(学会では新規性がないのかどうかわたしにはわかりません)これも「知らせる」ことも会の目的である ROBA の会員の皆様にはぴったりの本です。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

2009年今年の千支もロバ？

皆さん 今年も楽しくやりましょう！



福井ケーブルテレビのふくいチャンネル「ズームアップまちづくり」の番組収録 / 7ページ関連記事

活動報告

- 12月17日 LRT研究会 (IRE)
- 20日 民主党若手勉強会
- 26日 マップ部会 (坂井市コミバス意見交換会)
- 1月10日 LRT部会
- 13日 ROBANEWS 編集会議
- 14日 LRT研究会 (IRE)
- 16日 福井市都市交通戦略協議会
- 16日 1月例会・理事会

今後の予定

- 1月 下旬～2月上旬 臨時理事会予定
- 18日 (日) 森田地区文化委員会コラボ
第2回ワークショップ
- 2月14日 (土) 第3回ワークショップ
- 20日 (金) 2月例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

「となりの車線はなぜスイスイ進むのか」

トム・ヴァンダービルト著 酒井泰介訳

早川書房 1800円 + 税 ISBN978-4-15-208971-7 C0065

渋滞論、交通安全工学など、自動車にまつわる多彩な話題がおもしろく書かれており、飽きずに読める本です。日本では、自動車の交通の円滑化と公共交通は切っても切れない関係ですが、クルマだけの世界でこれほど「考えるネタ」があることに専門家でない人は驚かれることでしょう。専門家の方にとっても、聞きかじりで聞いた話が具体的かつわかりやすく記載されており、「おれもそう思っていた」と膝をたたくことが多いと思います。

日常生活の経済的不安のない福祉国家の国民は、やはり安全ということに興味に向くし、道路行政も国民の思想がひとりひとりの命や社会のルールを大事にしているかどうかで大きく変わってくる、ということは行政マンとしてしっかり考えないといけないという感想を持ちました。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

JR森田駅からバスに乗って自宅近くに着いた～字余り

第2回 第3回 森田地区文化委員会コラボROBAワークショップ 開催!



関連記事
4・5ページ

活動報告

- 1月18日 第2回森田地区文化委員会ワークショップ
- 2月1日 臨時理事会
- 2日 LRT研究会 (IRE)
- 6日 福井市都市交通戦略協議会
- 9日 レンタサイクル企画提案打合せ
- 14日 第3回森田地区文化委員会ワークショップ
- 16日 福井市都市交通戦略協議会 (最終)
- 17日 ROBANEWS 編集会議
- 20日 例会・理事会

今後の予定

- 2月24日 (火) LRT研究会 (IRE)
- 3月9日 (月) LRT研究会 (IRE)
- 13日 (金) 例会・理事会
- 15日 (日) まちづくりフェスタ

ゆうじんの部屋 書籍紹介 part1

今どき儲かる商店街 金子哲雄
プレジデント社 952円+税
ISBN978-4-8334-1892-8 C0063

副題が「趣味で始めた小さなお店」が小売業を再生する。とされており、最終章で目黒通りの家具屋自転車専門店などの事例が示されている。顔の見えるコミュニティ型商店街(えてして政治家とつながりがち)をめざす商店街再生と別の方向を示している。商売気のある店員にあれこれ言われることや、プライバシーの侵害を恐れて地元商店街で買い物をせず、大規模店やネットショッピングに走る人の気持ちを考えて、遠くからでも人が来て趣味でやっているような商店街に未来があるという主張である。凡人が小売業で成功する秘訣を求めてこの本を買ったと失望する。成功している小売業は一種の芸術であり素質と修養ともに大切なのである。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin



線路に 季節外れの白い雪が……未来へのプレゼント？



福井新～花堂間の南福井踏切 / 福井鉄道 / 撮影田山 / 関連記事 5 ページ

活動報告

2月24日 LRT研究会 (IRE)
3月 9日 IRE研究会 (IRE)
13日 ROBA例会・理事会

今後の予定

3月15日(日) まちづくりフェスタ
末日 のりのりマップ第6版予定
4月3日(金)～5日(日)
4月10日(金)～12日(日)
ふくい春まつりレンタサイクル事業
4月17日(金) ROBA例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介 part1

まっとうな経済学 ティム・ハーフォード著

遠藤真美訳 ランダムハウス講談社 1800円

ISBN 270-00144-5 C0030

価格は労働価値の反映という説もあるが、希少性の反映という説もある。希少な資源を探して確保する労力が希少性の尺度とすれば二つは同じことを言っている。悪い政府、業界団体は、自分たちの地位を守るため意識的に希少性を作り出す。希少性をキーワードに喫茶店のコーヒーから腐敗した政府まで、例示を交えてわかりやすく解説する経済啓蒙書の傑作と言える。土地利用規制を厳しくすると、開発できる土地の希少性が生まれて地価は高くなる。それは地主と都市計画屋の地位を高めるための陰謀と安価な土地を求める勤労者が疑ったとき、我々はそれに反論する理論を持っているだろうか。今、都市計画法の改正に向けて行われている論争の裏側の真実が見えたようだ。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin



春まつりレンタサイクル 大車輪！

そこをまっすぐに行って 横断歩道の手前を左に曲がり、三つ目の交差点を渡り、右にまっすぐに行くと桜並木が見えるはず・・・(関連記事 4・5ページ)



活動報告

- 3月15日 まちづくりフェスタ(福井市)
- 29日 ふくい春まつりレンタサイクル事業説明会
- 4月3日~5日 ふくい春まつりレンタサイクル
- 5日 臨時理事会
- 10日~12日 ふくい春まつりレンタサイクル

- 14日 モビリティウィーク&カーフリーデー準備会
- 17日 例会・理事会

今後の予定

- 4月29日(水) 臨時理事会
- 4月下旬 のりのりマップ第6版発行予定
- 5月17日(日) 総会、記念講演会、第1回MW&CFD実行委員会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

対距離課金による道路整備 根本敏則・味水佑毅著
日本交通政策研究会研究双書24 勁草書房
3400円+税 ISBN978-4-326-54814-9 C3333

2008年10月発行の本であるから、中身は道路財源論争盛んな昨年も執筆中で国土交通省道路局のメンバーもおおむねの中身は承知していたはずである。そのわりに道路財源論争が経済学的に低級だったことは残念である。この本は、少し経済学的素養がないと難しいが、道路課金のあり方を総合的かつ学術的に整理された良書である。大学の公共経済学の副読本にもおすすめしたい。字数の制限もあるので、キーワードだけ挙げる。

整備財源調達・対距離課金・受益者負担・海外事例・車種間・地域間・需要管理・道路容量の最適化。

また、目次にはないが、平均費用、限界費用、短期、長期など、経済学的に必要なつぼはすべて押さえてある。「アクアラインなど、更新費用調達を考えなければ料金を渋滞するぎりぎりまで安くしてたくさん利用してもらったほうが社会的効用は大きい」といった当たり前の結論も導かれるのである。

アクアラインの更新費用は別にアクアライン利用者から集めなくても、湾岸道路の混雑課金で賄えかもしれないが、そこまで複雑な計算例は残念ながら提示されていない。しかし、福井の人には身近な、湖西道路を例としたバイパスと一般道路の最適料金問題の計算例は出てきて興味深い。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin



イエローカラーに先祖帰りだー！

「ふくいのにりのりマップ」第6版 発行



第6版 / 4 ページ関連記事

活動報告

- 4月28日 MAP 部会、マップを事業者、書店等に委託配布
- 4月29日 臨時理事会
- 29日 MAP 部会
- 5月1日 のりのりミニマップを県市教育委員会へ寄贈
- 2日 北陸連携並行在来線等活用市民会議に参加
- 7日 福井市ミーティングテーブル事業打合せ
- 15日 臨時理事会
- 17日 ROBA 総会 & 記念講演会
- 17日 第1回 MW & CFD 実行委員会

今後の予定

- 5月22日(金)
- IRE 懇話会(並行在来線とまちづくり)
- 17:30 織協ビル 802 号室
- 6月中旬 第2回 MW & CFD 実行委員会
- 6月14日(日) 福井鉄道・ROBA 懇談会
- 6月19日(金) ROBA 例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

格差社会日本で働くということ 熊沢誠著

岩波書店 1900円+税

ISBN978-4-00-022478-9 C0036

企業別労働組合、企業だよりの福祉。そうした制度は、労働条件が良い企業ほど自由競争に負ける宿命がある。競争相手が外国に広がればなおさらである。今こそセフティーネットは国が全国一律に張り巡らすべきだが、国が制度として作るのか、全国の労働者が団結して勝ち取るのか。昔どこかで議論したことがあるような。そういった思想論だけでなく、いろいろと事実も述べてあるから、格差問題、労働問題に興味のある人は読んでみたらいいだろう。この世界はサービス残業をはじめとしてルール違反がいっぱいある。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

今年度も ホジロバ / スローライフで楽しく ROBA 活だー！

平成 21 年度総会 & 望月真一氏 講演会



2
4
ページ
関連記事

活動報告

- 5月21日 福井市福井鉄道サポート団体協議会総会
- 22日 IRE 研究発表
- 29日 福井鉄道福武線サポート団体等協議会
- 6月2日 IRE LRT 研究会
- 3日 第3回 MW&CFD 実行委員会
- 14日 福井鉄道と ROBA の懇談会
- 19日 ROBA 例会
- 19日 「えちぜん鉄道」株主総会

今後の予定

- 6月21日(日) 越前町 福鉄バスツアー
- 22日(月) MW&CFD 準備会
- 23日(火) 「福井鉄道」株主総会
- 26日(金) 第4回 MW&CFD 実行委員会
- 27日(土) 講演会
「福井のまちづくりを考える」(織協ビル)
- 7月5日(日)
シンポ「交通と環境」・公共交通進化論(金沢)
- 17日(金) ROBA 例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

子どもの貧困 - 日本の不公平を考える

阿部彩 岩波新書 780円+税

ISBN978-4-00-431157-7 C0236

経済の活力を維持するためには、働ける人に無償で財やサービスを給付することは避けられないといけませんが、最低限の生活水準と競争の機会均等は確保しなければならない。国の政策は常にこのジレンマとの戦いである。日本の反貧困政策は欧州の貧困政策に比較して救貧型、ばらまき型ともに不十分で、高福祉の国の政策が必ずしも経済パフォーマンスが悪いわけではない。

こうした最近流行の論点を、特に競争条件の平等の観点から子供に関する政策に焦点を当てまとめた本である。子供の福祉政策は、大多数が親が間に入るのので、親にかすめとられず、子どもに競争の基盤となる教育を与えていく政策の難しさを考えさせられる。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin



2 ~ 3 ページ 関連記事

高橋さん 9年間 お疲れさまでした！
ROBA東京事務所所長として
これからもよろしくお願いたします

活動報告

- 6月21日 越前町・かれい崎福鉄バスツアー
- 22日 事務局会議 (MW&CFD対応)
- 27日 「福井のまちづくりを考える」フォーラム
- 27日 事務局会議 (MW&CFD対応)
- 7月4日 事務局会議 (MW&CFD対応)
- 5日 シンポ「交通と環境」公共交通進化論 (金沢)
- 8日 第4回MW&CFD実行委員会
- 8日 福井市地域生活交通活性化会議
- 10日 IRE & 都市化研究公室合同研究会
- 17日 ROBA例会・理事会

今後の予定

- 7月22日 (水) 第5回MW&CFD実行委員会
- 7月24日 (金) 事務局会議 (MW&CFD対応)
- 8月1日 (土) 事務局会議 (MW&CFD対応)
- 8日 (土) 事務局会議 (MW&CFD)
- 21日 (金) ROBA例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

社会をつくる自由 - 反コミュニティのデモクラシー 竹井隆人
ちくま新書 700円+税 ISBN978-4-480-06475-2 C0231

政府系金融機関職員の著者が、社会のあり方そのものを問う「哲学書」である。しかし、エリアマネジメント、コミュニティなど、最近の都市計画の流行を問い直す基礎理論として、都市計画の実践家にも読んで頂きたい本である。今後地方公共団体の財政悪化の中で、地区ごとの社会資本の管理、防犯等における地域コミュニティの役割は大きくならざるを得ないが、各個人が社会のあり方を客観的に見続けないと、自ら選んだ隷属が待っているという警告の書である。社会のあり方自体を考えたことがない人にとっては難解な本であるが、この字数では書ききれない含蓄のある本なので是非お読み頂きたい。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

やったぞ！ 審査員特別賞 受賞！ 福井HOMETOWN SONG大賞 2009



2～3、7ページ 関連記事

活動報告

- 7月22日 MW&CFD 実行委員会（第5回）
- 24日 MW&CFD 事務局会議
- 8月1日 MW&CFD 事務局会議
- 2日 MW&CFD メディア連携事業打合せ
- 7日 MW&CFD 実行委員会（第6回）
- 8日 MW&CFD 事務局会議
- 9日 ホームソング大賞決勝大会
- 21日 ROBA 例会・理事会

今後の予定

- 8月22日（土）さばえ環境フェア
- 22日（土）北陸連携並行在来線会議
- 24日（月）第2回越前市地域公共交通会議
- 25日（火）MW&CFD 実行委員会
- 29日（土）MW&CFD 事務局会議
- 9月5日（土）MW&CFD 事務局会議
- 12日（土）MW&CFD 事務局会議
- 16日（水）～22日（火）
MW&CFD ふくい2009
- 18日 ROBA 例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

「格差社会論はウソである」 増田悦佐（えつすけ）

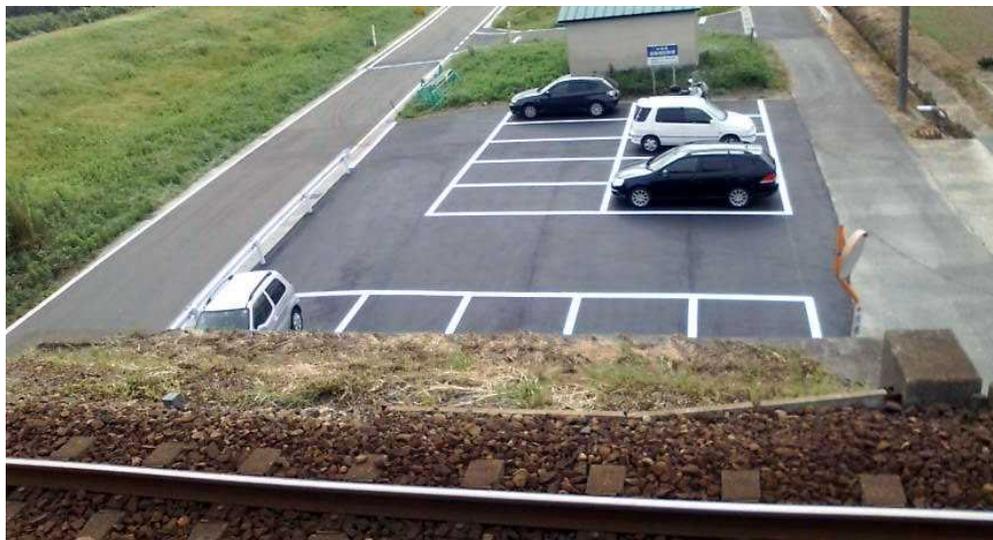
PHP 研究所 1800円＋税 ISBN978-4-569-70366-4 C0030

「日本文明・世界最強の秘密」を書いた著者は、同書では鉄道中心に日本文明の強さを論じたが、今回は「日本のマスコミ、識者は自虐的すぎる、日本のいいところはたくさんある」と多くの事例をあげる中で鉄道ネットワーク社会の教育、社会の平等性への効果を述べている。また、英語ができない人が多いのも、逆に日本語で高次の概念が議論でき、翻訳をしてくれる人がたくさんいるのだから悲観することではなく自慢すべきことといった話をしている。全体が一つの論理で貫かれるというよりは、いろいろな話題が出てきておもしろい本である。だから、「世の中を良くするために自分はこうすべき」という知恵はあまり得られない。ただ、「専門家の言うことは信用するな、日本の大衆と知識人の差は小さい」という主張はもっともだし、それは少し前最新の経済学の本で読んだ「専門家が自らの希少性の価値がなくならないよう社会・経済のしくみをゆがめるから注意しろ」という主張と通じるところがある。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

えち鉄「中角駅」駐車場が舗装化！

ほーそーかそれはよかった！



撮影／林照

活動報告

- 8月22日 鯖江環境フェア 2009
- 22日 北陸連携市民会議
- 25日 MW&CFD実行委員会
- 28日 MW&CFD事務局会議
- 9月8日 MW&CFD実行委員会
- 11日 MW&CFD事務局会議
- 12日 MW&CFD事務局会議
- 13日 MW&CFD事務局会議
- 16日 MW&CFDスタート

今後の予定

- 9月16日(水)～22日(火) MW&CFD
- 16日(水)～18日(金)【通勤にクルマを使わない日】
- 19日(土)【徒歩の日】シンポジウム・トークショー
- 20日(日)【バスの日】バスの乗り方教室
- 21日(月)【電車の日】
- 22日(火)【自転車の日】カーフリーデー
- 10月3日(土)北陸連携市民会議発表会(富山)
- 9日(金)MW&CFD実行委員会(最終回)
- 10日(土)～12日(月)全国バスマップサミット(沖縄)
- 16日(金)LOVE・アース・ふくい 福井県大会
- 16日(金)ROBA例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

公共料金の経済学 副題：規制改革と競争政策

桑原秀史著 ISBN978-4-641-16315-7 C3033

有斐閣 3800円+税

公共料金（公的規制を受けている対価）について、数式を用いて市場に任せれば最適化されない理由、設定すべき料金水準などを説明しており、そのあたりの教科書としては完全に理解できない私が論評する資格はないが、勉強する意欲のある人には有益な本に見える。

また、欧米の公共料金政策を水光熱通信費、交通費などについて現状がどうか、どのような考え方で統制されているのかも解説されていて資料としても価値がある。

ただ、最後に日本の公共料金政策について、規制緩和と競争を促す方向で多々提言しているが、ページ数の関係からあまり理論的に提言の正当性が説明されていないのが残念である。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin



「モビリティウィーク」&「カーフリーデー」ふくい2009 特集



撮影/畑

合言葉はホジロバ!

関連記事 2ページ〜9ページ

活動報告

- 9月19日 MW&CFD (徒歩の日)
- 20日 MW&CFD (バスの日)
- 21日 MW&CFD (電車の日)
- 22日 MW&CFD (自転車の日)
- 10月3日 北陸連携並行在来線市民会議発表会
(富山市)
- 9日 MW&CFD 実行委員会 (最終)
- 10~12日 全国バスマップサミット (沖縄市)
- 15日 わがまち LOVE・アース ラジオ生出演
- 16日 わがまち LOVE・アースコンテスト選考会
- 16日 ROBA10月例会

今後の予定

- 10月30日(金)~31日(土)
LRT都市サミット(広島市)
- 11月1日(日) LRTまつり in 広島(広島市)
- 3日(火) 福井市環境フェア
- 14日(土) 福井市まちづくりフェア
- 20日(金) ROBA11月例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

なぜ正直者は得をするのか 「損」と「得」のジレンマ

藤井聡著 幻冬舎新書 740円+税

私は、宗教じみた道徳教育は嫌いである。戦争に人を駆り立てるナショナリズムも嫌いである。でもゲームの理論と歴史は正直者が多い社会は安定であることを証明している。最新の理論のおかげで、宗教や排外主義とは無関係に道徳やナショナリズムの必要性を説くことができるようになった。最近売れっ子の土木計画学の先生の著書であるが、この本は、私が読んだ中で最高の道徳書だと思う。すぐに都市計画や交通計画に役立つわけではない。でも、政治・経済・土木・生物など、多くの分野を勉強してきた人に役立つ書だと思う。無条件に推薦する。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin



撮影・鳥居/関連記事4・5・11ページ

待ってたぞ「森田みらいバス」!

活動報告

- 10月30~31日 LRT都市サミット(広島市)
- 11月3日 福井市環境展
- 11月11日 交通運輸政策研究会との懇談
- 11月14日 福井市まちづくりフェア
- バイコロジー・シンポジウム2009inふくい
- 11月16-21日 サイクルスクエア(AOSSA)
- 11月20日 ROBA例会 理事会

今後の予定

- 11月21日(土)
中部地区路面電車サミット(富山市)
- 11月28日(土) REF30周年記念講演
- 12月5日(土)
人と環境に優しい交通をめざす全国大会(東京)
- 12月18日(金) ROBA例会 理事会 忘年会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

差別と日本人 野中広務・辛淑玉
角川書店 724円+税

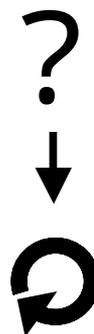
被差別部落出身者と在日外国人の筆者が対談しながら、戦後政治を動かしてきた野中広務氏の思想、背景、魅力を明らかにしていく書である。行政が国籍以外の理由で差別的な制度を作ることはいやまずない。しかし、言論、経済活動の自由が尊重されているわが国では、民間人は差別をしたと外にわからない形で差別することも可能である。いわゆる普通の人でも人を差別したくなくても、自然と自分より下のグループを見て自分の地位に喜びを感じる誘惑から逃れられない。

世の中で十分な資源配分が得られていない人が豊かな現代にも存在する。もちろん本人の努力が足りない場合もある。しかし、真に本人の努力が公平に認められる世の中になっているのかどうか常に問い直していくことが必要であり、読みやすい構成でこうした難しい問題に目を開かせてくれる好書だと思う。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin



撮影 / 清水省吾



富山市内環状線化工事中

けなるいのー……

関連記事 3ページ

活動報告

11月21日 中部地区路面電車サミット富山大会
28日 REF30周年記念講演
12月5日
人と環境に優しい交通をめざす全国大会(東京)
18日 ROBA例会・理事会 忘年会

今後の予定

12月20日(日)
福井市都市計画マスタープラン説明会
12月25日(金)
地域公共交通コーディネーター会議(名古屋)
1月未定 臨時理事会
1月15日(金) ROBA例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

都市計画家 石川栄耀(副題)都市探求の軌跡
中島直人ほか 鹿島出版会 4800円+税
ISBN978-4-306-09396-6 C0052

歴史を事件の羅列で勉強するより、人物列伝を読むほうがおもしろい。おそらく、日本都市計画史はじめての人物伝がこの本ではないか。とにかく、現在旬となっているソフト系のまちづくりが、戦前から問題意識を持ってとりこんでいた人がいたことがわかり、現在の日本の都市計画を、平面図、立面図に時間という座標軸を付加することにより、より理解を深められる本である。

都市計画をあまり知らない人には都市計画の歴史の入門書として、専門家にとっては現在の知識に新しい方向から光を当てる本として、やや値が張るが、急いで読まなければならないジャーナリスト的な本ではないので、会員間で回し読みでもしてみたいかがでしょうか。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

2010年も合言葉はホ・ジ・ロ・バ!



活動報告

- 12月20日 福井市都市マスタープラン説明会
25日 中部運輸局地域コーディネーター会議
(林照翁出席)
1月15日 例会・理事会

今後の予定

- 1月17日(日) 臨時理事会
21日(木) 福井JC年賀会(内田出席)
1月中予定 居酒屋電車(福井鉄道)

ゆうじんの部屋 書籍紹介 (副題) 私はなぜ九州新幹線に金箔を貼ったのか? 水戸岡鋭治 著 交通新聞社新書 800円+税

デザインとは何か。それを知らなくてもぐいぐい引き込まれる社会論、地域づくり論、おもてなし論である。政治家が読めば政治論にもなる。自分が快感を得るのはどのような場合か、それを実現するためには「空気」を読むのも大切だが「空気」を作ること。お茶くみから金箔まで。

私は「空気」を作る戦略をデザインと言うのかなと理解しました。どんな仕事をしている人にも、家事にもすばらしいヒントを与えてくれる書だと思います。もちろんJR九州の車輛デザインに興味のある人はこの本を買うでしょうが、誰が読んでもためになる本です。

モビリティウィーク&カーフリーデー 日本アワード2009

ふくい2009実行委員会 「まちづくり貢献賞」受賞！

福井市



「ピントン TV でおなじみの「ピントン」が子どもたちのバスの先生に」 畑 みゆきさん

FBC福井放送でおなじみのキャラクターも「バスの乗り方教室」の取材に来て、バスの乗り方を教えてもらい、早速子どもたちに教えなくなったのが、取材も忘れて教えていました。



カーフリーデーベストショット賞 畑さん受賞 / 関連記事 4～5ページ

活動報告

- 1月17日 臨時理事会
- 21日 福井 JC 寿例会出席 (内田)
- 31日 福井市まちづくり交歓会 2009
- 2月2日 第3回越前市地域公共交通会議
- 7日 都市化研究室報告書検討会
- 17日 ROBANEWS 編集会議、事務局会議
- 18日 福井市福鉄福武線サポート団体協議会理事会
- 19日 2月例会・理事会

今後の予定

- 2月22日(月) 福井市地域生活交通活性化会議
- 3月14日(日) 臨時理事会
- 19日(金) 3月例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

偽装農家 神門善久

飛鳥新社 714円+税

コンパクトな都市と整形化された優良農地を形成するためには、市街化すべき農地を計画的に定めていく必要がある。しかし、地主にとって都合が良いのは転用したい時に転用できる制度である。農地税制、転用、交換等のルールは、上の2つの要求をうまくバランスさせてマネジメントしていかなければならない。日本の制度は地主の転用の便宜を重視しすぎているため、農業を真剣にやらない人が土地を持ち続けるというのが筆者の主張である。

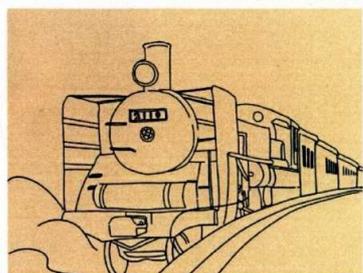
食糧自給率の向上を重視しない筆者の考えに同調しない人もいるだろうが、土地問題を起こさず、魅力ある都市づくりに資する農地制度を考えている人にとって、「農家が利己的に考えればどうなるか」について基礎的な知識が得られる書である。

ただしページ数も限られているため、理論的背景の説明にやや物足りなさを感じる人もいるだろうから、そうした場合はぜひ同一筆者によって書かれた「日本の食と農」を併せて読むことをおすすめする。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

森田駅物語

―ある駅長さんの回想―



森田駅の駅長を主人公に

アニメーション
完成!

時は昭和六十二年三月末日。国鉄が民営化、J Rと名称を変える日がすぐそこに迫っていた頃。森田駅の駅長さんは定年退職を迎え、妻に見送られながら出勤する。・・・(森田駅物語より)

関連記事 9ページ

活動報告

- 2月22日 福井市地域生活交通活性化会議
- 3月7日 福井市まちづくり成果発表会
- 14日 臨時理事会
- 19日 3月例会・理事会

今後の予定

- 3月25日(木) 福井鉄道 新駅開業(スポーツ公園駅) 駅名変更(裁判所前 仁愛女子高校)
(福井新 赤十字前)
(上鯖江 サンドーム西)
(西武生 北府:キタゴ)
(武生新 越前武生)
福武線ダイヤ改正
- 4月16日(金) 都市化研究公室報告会(兼4月例会)

ゆうじんの部屋 書籍紹介

高速無料化が日本を壊す 上岡直見
コモンズ 1800円+税

道路課金の研究成果を勉強することが仕事でかつ上岡直見ファンの私にとっては、どこかで読んだ記事の寄せ集めで、既に作ってしまった道路をどう使うか等の視点が甘いなど、不満が残る内容であるが、高速無料化論争がよくわからないから勉強したいとか、高速無料化は公共交通を衰退させたりCO2排出を増やしたりして良くないことを人に訴えるためのデータが欲しい人にとっては、多くの情報と注意深い文章立てでまとめたお値打ち感のある本である。

この本で頼りなさを感じた人は、是非「自動車にいくらかかっているか」を併せて読むことをおすすめする。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

これでバス待ちも楽チン楽チン！

京福バス / 森田駅前（丸岡方面）バス停『手作りベンチ』完成！



関連記事
3ページ

活動報告

4月3日、4日、11日
モビリティセンター&レンタサイクル事業
16日 4月例会・都市化研究公室報告会

今後の予定

4月17日（日） 福井市市民活動助成説明会
5月16日（日） 臨時理事会
5月21～22日 全国路面電車サミット（富山市）
5月23日（日） ROBA定例総会
ROBANews100号記念事業

ゆうじんの部屋 書籍紹介

現代の貧困

岩田正美 ちくま新書 700円+税

最近私の書評に貧困問題の本が多くあります。公共事業で社会の生産性をアップしても、節約された労力で失業が増えるだけであれば経済効果はありません。貧困対策と公共事業はともに税金で行うものであり、限られた財源のもとではトレードオフの関係にあります。しかし、貧困対策と公共事業への予算の最適配分を決める公式はまだありません。せめて貧困の定義、貧困対策の意義の基礎的な知識を得ておきたい。そう思った私には最適の本でした。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin